

22 夏闘に区切り 引き続き職場の問題解決へ 整備の現場もスタッフ部門も安全に

今年8月まで長期予報によると、平均気温は北日本や北陸で平年より高く、関東から西日本も平年並みか高くなるということで、厳しい夏になりそうです。

毎年夏の交渉で屋外作業手当を要求するとともに熱中症対策をどうするかを話し合っています。ところが、今年は交渉前から羽田の整備現場への麦茶提供を止めるといった話が職場で広がっていました。



今年の熱中症対策はどうなるのか？

22 夏闘交渉での熱中症対策、主なやり取り

組合 去年は冷感マスクと冷感タオルを一人ずつに配った。今年、熱中症予防のために何かやるのか？

会社 今、不織布マスクを前提に考えると、マスクの対応は難しだろうという話になっている。去年はお茶の話もあって、実際に提供もしていたが、あまり飲まれてないというのが見えてきて、この夏において提供を控えようと考えている。他に何ができるかは、引き続き検討中。暑さ対策は効果を見ながらだと思っていて、しっかり効果検証をして対策を打っていく。暑い中での作業のご苦労は重々承知しています。

総務部長 麦茶のニーズは実際どうなのか？機体工場の方があるというふうに聞いているが、ラインセンターとかは？

組合 結構飲んでいる。冷水器もあるけど衛生的に嫌がる人もいるので、ウォーターサーバーとか、自販機無料とか半額とかやってほしい。

総務部長 実はウォーターサーバーの検討はしていた。ただ、備付けの紙コップを毎回捨てるということでSDGSの観点から、そこはやめようとなって…。

組合 ではマイボトルを持って来てもらうようにして、汲んで飲むのはどうか？

総務部長 それはあるかもしれない。いずれにせよ、命に関わる問題、安全問題とされているので、安全衛生部とも話をしていきたい。

熱中症予防に必要な3つの管理

厚労省が発行している「職場における熱中症予防対策マニュアル」によると、以下の3つの管理が予防と対策になるそうです。

① 作業環境管理

(1) WBGT 値の低減等

暑さ指数を計測し低減を

(2) 休憩場所の整備等

氷や冷たいおしぼりを置く
水分、塩分の補給を



② 作業管理

- (1) 作業時間の短縮等・・・休憩時間を確保し、高温多湿作業場所の作業を連続して行う時間を短縮すること
- (2) 暑熱順化・・・・・・・・・・計画的に暑さに慣らすことが大事
- (3) 水分、塩分の摂取・・・WBGT 基準値を超える場合には、20～30分ごとの水分補給が望ましい
- (4) 服装等・・・・・・・・・・透湿性及び通気性の良い服装を着用。また、体を冷却する服の着用も望ましい
- (5) 作業中の巡視・・・頻繁に巡視し、熱中症の疑いがあれば作業中断を

③ 健康管理

- 健康診断で病気を知る ●三食バランスの良い食事 ●十分な睡眠を

死亡リスクもある熱中症 該当職場には屋外作業手当を

管理職も
一般職も

サービス残業をなくす 意識改革を



サービス残業（賃金不払い残業）は度々問題になって、団交で確認することがあります。PCのON/OFFで管理できるようになってから減ったと言われてはいますが、安全衛生委員会での報告を聞いても、改善傾向にあることにはなっています。しかし、抜け道はあって、「PC OFF 忘れ」ということにすれば、実際に終業後も働けるそうです。

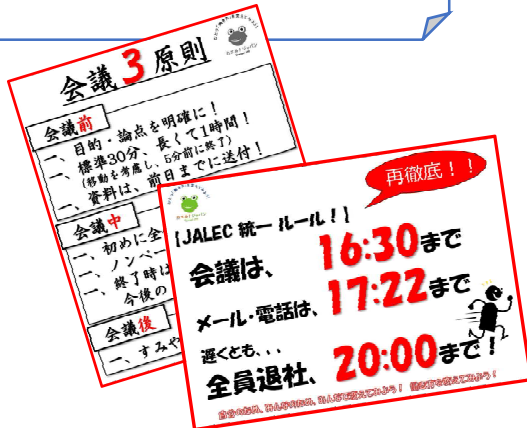
こちらのルール 正しく守っていますか？

（今年1月に発信されていたJALECの業務連絡から抜粋）

【時間外労働を行う場合】社員と所属長の間で所定終業時刻の1時間前までに「残業内容」「終業予定時刻」を社員が申請し、相互確認する。早出する場合は前日終業時刻までに確認する。

【勤怠記録の承認】業務開始・終業時刻とPC ON・OFF時刻の差異が30分以上で、理由が正当でない場合は必ず差し戻す。「自己学習、終業後休憩、残務整理、翌日準備、電話対応」は正当な差異理由として扱わない。

組合に指摘されなくても「統一ルール」があるからわかっているはずですが、ただ、SEQURE-LINKとか新しいシステムも入り、また抜け道が増えてきました。働く側の意識の問題もありますが、人員が足りていなくて、昼間の会議も長く、それで残業時間が制限されていたら問題です。管理する側がしっかり見て、正しいことを正しくしてもらえれば、サービス残業にはならないでしょう。



「再徹底」を再徹底！

7月も協議の場がたくさんあります

7/11

整備本部労協

「JALEC/整備本部 中期ローリングプラン 2022-2025」の内容を中心に、JALEC 全般の21年度の振り返りと今後の見通しについて話し合います。各センター長や各部長が参加します。OMZや支店の話はここで。

7/15
AM

HMZ 労協

JLUの組合員の多くが働く羽田。日頃から感じている身近な問題、施設の不具合など細かい話もできます。最近話題のMCTトライアルについては、別途説明会を求めています。こちらでも協議できます。

7/15
PM

CSZ 労協

これまでも伝えたところはピンポイントで改善してくれるCSZ。今足りない部品が何なのか、報告してもらえれば伝えてきます。

7/27

NPZ 労協

本部中執も成田まで行って成田支部と一緒にNPZと協議します。エンジントラブルへの対応、スタンバイエンジンのことで聞きたい事があれば、連絡ください。